

エラー&トラブル時の処理マニュアル

マニュアル最終修正日:2017/6/12

このマニュアルにて説明済のエラーが発生した場合は、その都度このマニュアルが自動で表示されます。

BGALOGは最新のものをお使いください。

エラー発生の際は自動的に当方へ情報が送られるように仕組みをしていますが、古いバージョンを使用されている場合にはすでに解決済みのエラー情報がその都度送られてくることになり、当方もその都度なぜエラーが発生しているのかチェックを行う必要があります。

また、皆さんもその都度このエラー対応のメッセージが表示され煩わしいことと思います。

これらの無駄な作業を省くため「最新のバージョンのBGALOG」を使用するように「ご協力をお願いします。」

目次－1

- P- 1 環境読込時のエラー対応（プログラムと環境設定のバージョン違い）
- P- 2 データベースの復旧方法（バックアップしているデータからの復旧方法）
- P- 3 ヌル補正（データベースの一部がヌル状態となって検索に失敗する）
- P- 4-1 バージョンアップ（手動でのバージョンアップ）
- P- 4-2 バージョンアップ（BGALOG開始時）
- P- 5-1 重要不正データの「コールサイン」、「DXCC番号」、「プリフィックス」等の重要不正データの簡易チェック方法
- P- 5-2 重要不正データの有無のプログラムでのチェック方法
- P- 6 DXCCリストの修復方法

注意：

プログラムバージョンと環境設定「KANKYOU.TXT」はその都度のバージョンでのセットで使用する必要があります。

新しくバージョンアップを行ったデータを古いバージョンで使用するとすでに削除された環境設定の項目が無い状態が発生し、結果データベースを壊してしまう可能性がありますので、古いバージョンに戻す場合は、事前に開始画面にてそのバージョンの環境設定「KANKYOU.TXT」ファイルによりデータも古いバージョンに戻す必要があります。

バージョンアップ時にはそのZIPファイル内にある「各、TXT」ファイルもBGALOGフォルダーにコピーしてください。
これを実施しないと正常にバージョンアップが行われません。

各ツール毎の機能説明

マウスの進むボタンorセンターボタン(スクロールボタン)押下でツール毎の使用説明書が表示されます。

※ 5ボタン以上の機能を持ったマウスが必要です。

右ボタン以外の「進む・戻る」ボタンにも機能を埋め込んでいる場所があります。
メイン画面、テルネット画面以外では一部ツールチップヘルプを使用しています。

その他の情報

エラー自動報告により対応策等をこのマニュアルに追記していきます。

環境読み込み時のエラー P-1

プログラムのバージョンと環境設定が対応していない場合に発生します。

B G A L O Gの環境設定は添付されている環境設定の設定ファイル「KANKYOU.TXT」の更新月日とチェックして環境に設定している「upGakusyu」より新しい場合は自動的にチェックを行います。

この時、「KANKYOU.TXT」にない項目は削除し、新しい項目がある場合は追加します。

つまり、古いバージョンを用いて新しいデータとなったLOGを使用するとすでに削除された項目が使用できないためにエラーが発生してしまいます。

半面、新しいバージョンで古いデータを使用すると新たに追加されていない項目が読み出せませんので同様にエラーが発生してしまいます。

自動報告エラーの例

「環境からの読込を失敗しました」の音声メッセージの後、このマニュアル表示と共にJ A 5 B G Aへ次の内容が自動送信されます。

★ 「環境設定読出し検索不可」で次のエラーがありました。（位置＝開始画面）

Ver 20170317a 2017/03/18 21:16:35 Koumoku = JtTorikomiSentaku Index=-1 ユーザー名等

この例は、新しいバージョンで新たに追加された項目「JtTorikomiSentaku」が、ないことから発生したエラーの例です。

対応策

通常の使用方法の場合は自動的に環境設定がアップデートされますが、このエラーが発生した場合に手動で環境をアップデートできます。

- 1 最新の「KANKYOU.TXT」を「C:\BGA\LOG」フォルダーへコピーしておきます。
- 2 B G A L O Gを起動して「環境設定」を開きます。
- 3 「KANKYOU.TXTで環境更新」を実施し、「終了」ボタンで完了です。



データベースの復旧方法 P-2

何らかのトラブルでデータベースが消えた場合の復旧方法
B G A L O G . A C C D Bが壊れた場合に次の方法で復旧できます。

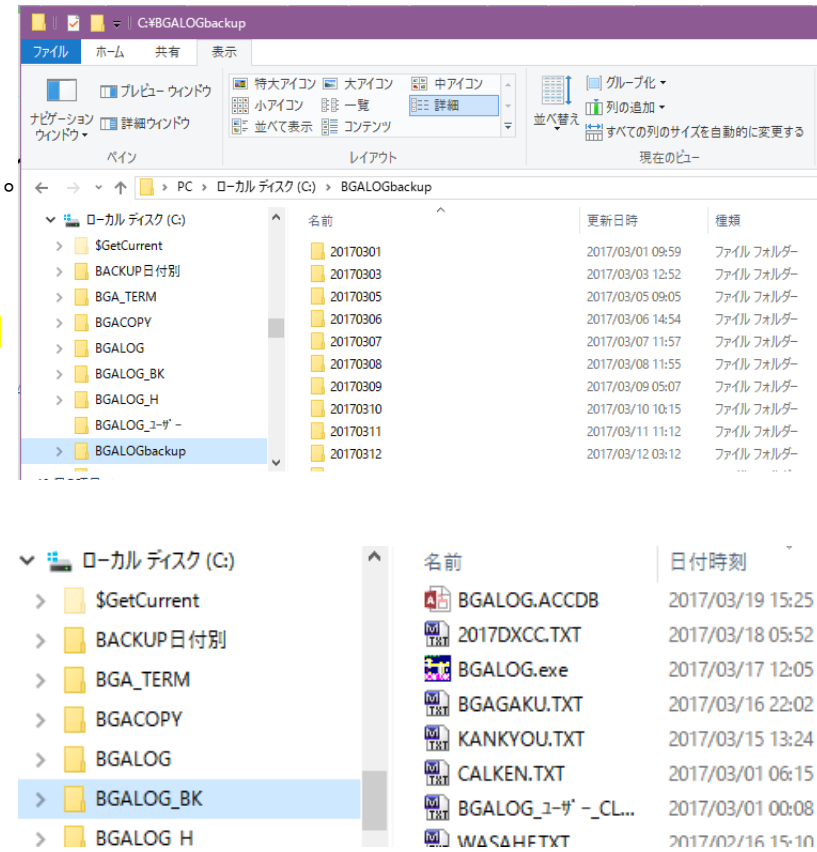
1 日付別バックアップデータから復旧

「C:¥BGALOGbackup」には、右表の様に毎日のQ S Oを行った最終のデータが保存されています。
この日付別のフォルダの中に有る「BGALOG.ACcdb」を「BGALOG」フォルダーにコピーすれば、その時点までのデータに修復が出来ます。
また、その中にある「登録分DT_Backup.TXT」に直近のQ S Oの登録内容が保存されていますので、その後の通信データを手動で登録すれば復旧できます。

2 フォルダーごと復旧

開始画面の「全バックアップ」を行った時点までのデータにそっくり変更することができます。

- 1 使用中の「C:¥BGALOG」を「C:¥BGALOG1」等々にリネームする。
 - 2 「C:¥BGALOG_BK」を「C:¥BGALOG」にリネームする
 - 3 処理が完了して不要となった「C:¥BGALOG1」は削除
- ※ この方法は「全バックアップ」を事前に実施していなければなりません。



全バックアップ

左の「全バックアップ」は、次の内容を実施します。

- 1 「C:¥BGALOG_BK」があれば削除します。
- 2 「C:¥BGALOG」を「C:¥BGALOG_BK」としてゴーします。

※ 名前を変えてコピーするのみで単にフォルダー名が異なるのみです。

登録分DT_Backup.TXT (最大100件まで過去登録分を保持)

Q S Oを行いLOG登録時に自動で作成 (又は、追加) されます。
月の当初に整理されます。

ヌル補正 P-3

データベースの一部の項目のデータを削除した場合の復旧方法

DBグリッド（エクセルのような格子状の部分）の項目内のデータの一部を削除ボタンで削除してしまった場合 B G A L O G のデータベースの各項目には何らかのデータ（最低スペース等）が入っていないと見えますが、何も入っていないとヌル状態となりその後の検索に失敗してしまいます。

（未記入の項目には、データ追加時にプログラムにより自動で半角のスペースを記入しています。）

このため、項目の削除は半角のスペースを入れる必要がありますが、見た目には区別が付きにくいのが現状です。

1 ヌル状態の修復（メイン画面）

- 一括補正

オプション画面 ⇒ メイン動作オプション ⇒

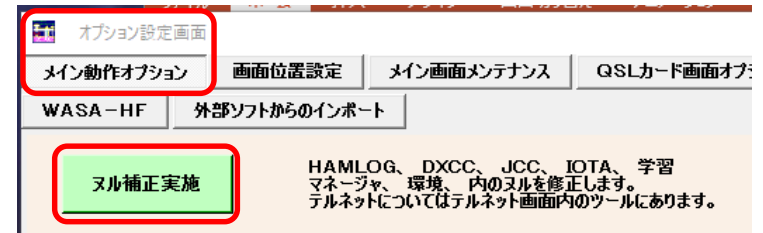
ヌル補正実施ボタンクリック

検索等が出来なかったりおかしいと思われる場合は実施してください。

- 個別補正

② I O T A ~ ⑥ マネージャフォルダをクリック時にそれぞれのデータのヌルを自動補正します。

業務日誌の LOG データについては、その局のデータクリック時に自動補正を行います。



2 テルネット画面

局別星取表管理画面 ⇒ ペディション終了局選択解除を実施すると終了時に自動的に補正が行われます。

参考：「ペディション終了局選択解除」はペディション終了局を自動的に抽出し、確認をしながら削除出来ます。

ペディション局	19C	19P	35C	35S	35R	35P	7C	7S	7R	7P	10C	10R
VK9NF							R					
VK9NT			R				R		R		R	R
VK9NZ							R	R	R		R	R
VP6EU							R	R	R		R	

※ ヌル補正は随所で自動的に実施されますが、修正が必要とメッセージが出た場合や、何か不明であるがエラーが多く発生するなどの状態がある場合に手動で、定期的実施してください。

特にテルネット画面にアップされた場合は、その局との交信状況、DXCCリストの状況、等をチェックします。この時にエラーが発生する場合はヌルの可能性が大きいと思います。

BGALOGは最新のものをお使いください。

注意：プログラムバージョンと環境設定「KANKYOU.TXT」はその都度のバージョンでのセットで使用する必要があります。新しくバージョンアップを行ったデータを古いバージョンで使用するとすでに削除された環境設定の項目が無い状態が発生し、結果データベースを壊してしまう可能性がありますので、古いバージョンに戻す場合は、事前に開始画面にてそのバージョンの環境設定「KANKYOU.TXT」ファイルによりデータも古いバージョンに戻す必要があります。

バージョンアップ時にはそのZIPファイル内にある「各.TXT」ファイルもBGALOGフォルダーにコピーしてください。これを実施しないと正常にバージョンアップが行われません。

BGAGIPによる手動アップデート方法

1 手動で実施する方法

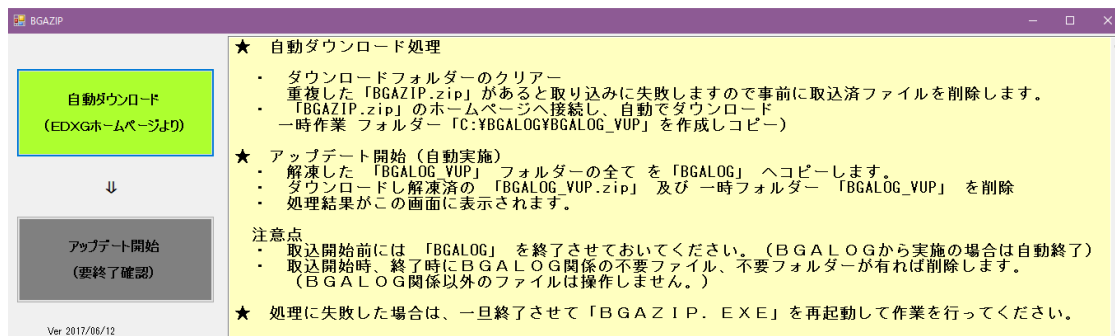
- EDXGホームページより「BGALOG_VUP.zip」をダウンロード
- 適宜な場所へ解凍
- すべての内容をBGALOGへコピー

2 BGAZIPにより手動で実施する方法 (P-4-2 参照)

- BGAZIP.EXEを起動
- 「開始」ボタンクリック ⇒ ブラウザーが起動してEDXGホームページへ接続されます。
- ブラウザーにより「BGALOG_VUP.zip」をダウンロード後、開始等を実施しないで、そのままブラウザーを終了。
- ダウンロード修了確認後、「はい(Y)」クリックで終了です。

注意事項

BGALOGフォルダーに「BGAZIP.EXE」が在る必要があります。
(無い場合はEDXGホームページよりダウンロードし、解凍後BGALOGフォルダーへコピーしておいて下さい。)
事前にBGALOGを終了させておく必要があります。



実施確認



お使いのブラウザでダウンロードが終了していますか？

ダウンロードが出来ていない場合
いいえを選択してください。

「アップデート」を自動で実施します。

はい(Y)

いいえ(N)

BGALOG起動時の自動バージョンアップ方法 P-4-2

BGALOGの新しいバージョンがあった場合

BGAZIP. EXEを起動します。

起動方法

- ① BGALOGからの起動
- ② 直接起動



BGAZIP. EXEはBGALOG経由でなくとも直接起動でもOKです。

ウイルスソフトによりロックされた事例もあります。
この場合は一時的にウイルス対策ソフトを停止する必要があります。

BGAZIP. EXE

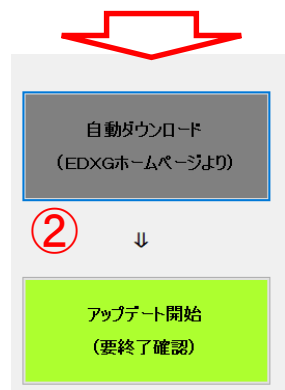
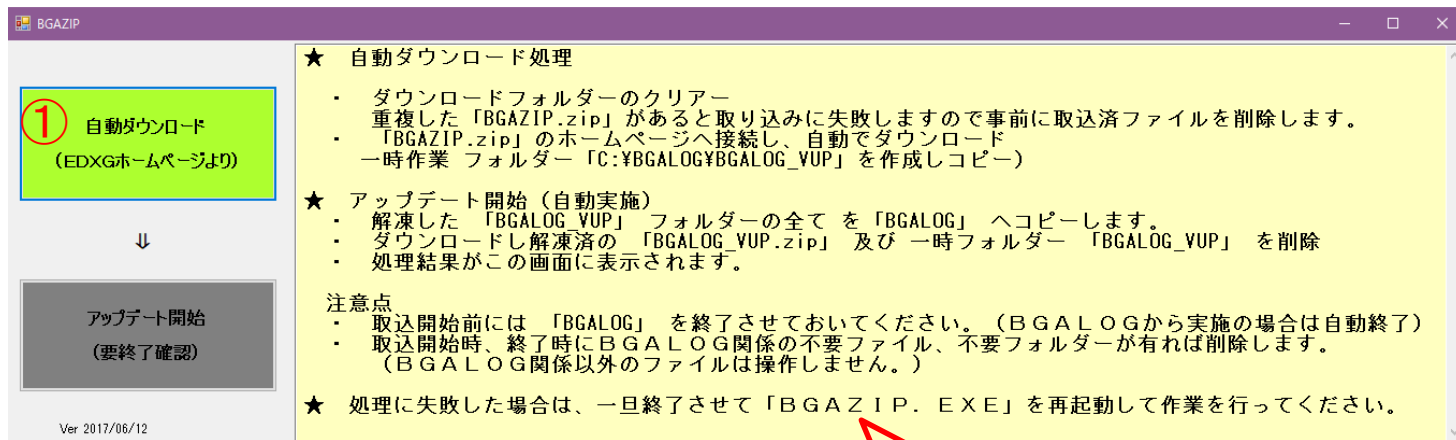
作業は次の①、②の2ステップのみ

① 自動ダウンロード実施

自動的にEDXGホームページよりLOGVUPがダウンロードされます。

② アップデート開始

ダウンロードしたファイルを解凍して、BGALOGフォルダーに移動します。
その後不要なZIPファイルや一時保存していたフォルダーを削除し完了します。



BGALOGが起動していると作業に失敗します。

この画面に作業の進捗状態等が表示されます。

Windows によって PC が保護されました

Windows Defender SmartScreen は認識されないアプリの起動を停止しました。このアプリを実行すると、PC に問題が起る可能性があります。

詳細情報

ここをクリック
その後実行をクリック

実行しない

ウインドウによるこのような画面が表示された場合は、「詳細情報」をクリックしてから実行をしてください。

2017/3/22日現在のBGAZIP. EXEの最新バージョンは20170612です。

重要不正データの有無の簡易チェック方法 P-5-1

次の重要項目が未記入等の場合は各種検索時やテルネット処理中にデータ不正のために「検索できない」、「ハングアップ」につながるエラーを引き起こします。

「コールサイン」、「日付・時間」、「モード」、「周波数」、「プリフィックス」、「DXCC番号」

簡易チェック方法

★ 「項目欄の文字」をクリック (例はDXCC番号クリック時)

項目欄の文字をクリックするとその都度、昇順・降順にソートされますので、その中で空白欄や不正な文字を見つけましたら修正してください。下記の例では「HRS」が未記入となっています。

検索			元DB検索		備考1検索				マルチ行		備考2検索			マルチ行	
QRZ.CO	HAMQTH	IK3QAR													
↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	7桁7桁...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P			
▶	VE7CML	1979/09/30 04:56	SSB	21.		59	VE	001	GREG	CANADA					
	VE3UOT	1979/10/27 01:55	SSB	21.	59	59	VE	001		CANADA					
	VE7VX	1980/03/01 05:14	SSB	14.	59	59	VE	001							
	VE1DXA	1980/03/01 07:27	SSB	14.	59	59	VE	001							

全ての項目行で
昇順・降順ソート可能

その他のチェック

★ 「ヌル」をチェック

メイン画面マニュアルのP-24 検索が出来ない、ヌル補正の必要性を参考にしてください。

データを登録しているのに検索が出来ない場合があります。原因は、「ヌル」状態となっているために検索出来なくなっているためです。

また、最悪時はハングアップにつながります。

環境設定	LOTW等 DB処理	複合検索	オプション・その他	マニア
メンテナンス & その他				
ヌル補正実施		HAMLOG、DXCC、JCC、IOTA、学習 マネージャ、環境、内のヌルを修正します。 テルネットについてはテルネット画面内のツールにあります。		

重要不正データの有無のプログラムでのチェック方法 P-5-2

メイン動作オプション	画面位置設定	メイン画面メンテナンス	QSLカード画面オプション
WASA-HF	外部ソフトからのインポート		
不正データ抽出(周波数、モード)			
過去に入力済の周波数をチェック (ドットの無い周波数を補正)			
補正 未登録PRE登録・プリフィックス未登録局を抽出し、DXCC番号記入 (他のプログラムから移行した場合に使用します。)			
「不正データ」のピックアップ：結果メイン画面表示 結果はメイン画面に表示されます。			
DXCC番号の整合性			

不正GL番号削除
不要ファイル削除 (不要となった一時ファイルの削除) C:BGALOG内に作成しているフォルダーは通常不要です。 (削除対象としないので各自で判断して整理してください。) 時々実施を行ってください。

★ メイン画面メンテナンス ★

★ 不正データ抽出(周波数、モード)

次をチェックします。

周波数が3桁以下

周波数の中にスペースが有る場合

周波数の中に「.」が無い場合

次のモード以外の場合

CW、SS*、PS*、RT*、FM、RO*、JT*、OL*、AM、FAX

※ 次の未項目と類似しています。

★ 過去に入力済の周波数をチェック (ドットの無い周波数を補正)

次をチェックします。

ドットの無い周波数

周波数が1桁の物

周波数にドットが無い場合は、各種の検索時に正しく表示されないのを補正します。

★ 補正 未登録PRE登録・プリフィックス未登録局を抽出し、DXCC番号記入 プリフィックス未登録のデータ取り出して、プリフィックスを記入します。

★ 不要テキスト削除

過去に使用していた不要となったテキストファイルや処理のための一時ファイルとして作成しているファイルを削除します。

★ 「不正データ」のピックアップ

「日付、モード、周波数、プリフィックス、DXCC番号」の無いものをメイン画面に抽出します。

★ DXCC番号の整合性

DXCC番号が数字以外のもの3桁以外のものをメイン画面のメッセージ欄及びMSG. TXTに抽出します。

／MM等も同時に抽出されますが、これは無視してください。

DXCCリストの修復方法 P-7 (実施はUSB等にバックアップ後に行ってください。)

1 DXCCリスト内の交信記録が削除されてしまった場合に古いデータベースからコピーをする方法
マイクロソフトアクセスにより最新の壊れたデータを開き「HAMCAN」を削除し、
古い破損前の「HAMCAN」をコピーする。

2 登録済のデータのDXCC番号により修復する方法 (実施時の各コメント等を確認してください)

(1) 最新の「DXCCLIST.TXT」ファイルにより「①のメンテナンスを実施」
BGALOG_VUP内に最新の「DXCCLIST.TXT」が含まれており、通常は自動で
更新されます。

(2) 「④ DXCCカントリーリストの再構築」を実施
次の内容が実施されます。

作業内容

- ・ スル補正
 - ・ すべての交信データを削除 (コールサイン、T、Rの更新内容の記号を削除)
 - ・ 登録している業務日誌のデータにより (コールサイン、T、Rの更新内容の記号を登録)
- ※ コールサインについては、先にヒットしたものが登録されます。



A screenshot of the 'DXCCオプション' (DXCC Options) screen in the software. The screen has a title bar 'オプション設定画面' and several tabs: 'メイン動作オプション', '画面位置設定', 'メイン画面メンテナンス', 'QSLカード画面オプション', 'IOTAオプション', 'DXCCオプション', '読売アワード', and 'JARL30周年記念'. The 'DXCCオプション' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there are two main sections. The left section is green and contains two numbered items: '① DXCCLIST.TXTファイルによりメンテナンス' and '② DXCC番号によりQSOデータのプリフィックスを修正'. Below these is a note: '※ マスターDBとの整合に数分～数十分を要します。「全て終了」のメッセージまでお待ちください。'. The right section is blue and contains '④ DXCCカントリーリストを再構築' followed by '全登録済業務日誌のDXCC番号に基づき実施'. Below this is a '作業内容' (Work Content) section with three numbered items: '(1) スル補正', '(2) DXCCリストを初期化(データ部分の削除)', and '(3) 登録業務日誌のDXCC番号よりDXCCリストを再構築'. Below this is another note: '※ 処理に数分～数十分を要します。'.